

ESRI統計より：景気統計①

機械受注（外需）の動向
について

経済社会総合研究所景気統計部

深澤 恵右

はじめに

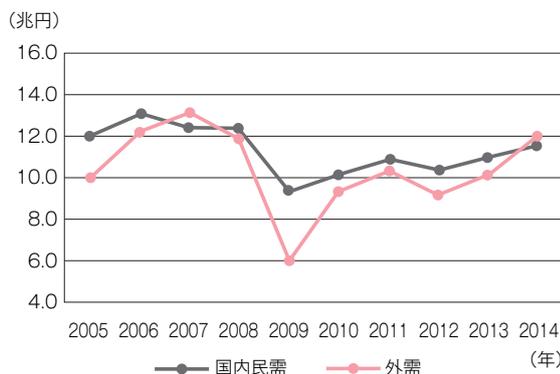
内閣府経済社会総合研究所景気統計部で作成している統計調査の一つに機械受注統計調査（以下「機械受注」という。）がある。本稿では、機械受注における外需の状況について簡単に紹介する。

外需の最近の動きについて

機械受注は、国内の主要な機械メーカーが受注した設備用機械について毎月の受注実績を調査したものである。調査は、機種別（どのような機械を受注したか）及び需要者別（誰が発注したか）に分類して行っているが、外国にいる需要者からの受注を「外需」として区分している。

外需については、2014年は12.0兆円、前年比17.9%増と2007年以来の受注額となり、7年ぶりに国内民需（2014年は11.6兆円、前年比5.7%増）を上回った（図表①-1）。

図表①-1 国内民需、外需の受注額の推移



（備考）1～12月の合計値（原系列）を使用。
（出所）内閣府「機械受注統計調査」

また、2014年中の外需の動きについては、特に激しい上下動を繰り返しており（図表①-2）、同年4月は1兆6,148億円、前月比71.3%増（受注額、前月比ともに季節調整値）と、比較可能な2005年4月以降、受注額

については過去最高の水準、前月比については過去2番目に大きい増加率となった。

外需の動きの要因をみるため、機種別で前年と比較した（図表①-3）。2014年の外需は、原動機を除くすべての機種で前年比がプラスになり、また、鉄道車両や船舶といった一般に1件当たりの受注金額が大きいと考えられる機種で大きく増加した。また、2014年の外需と国内民需との動きの違いについては、外需は、その総額に占めるシェアの大きな産業機械及び電子・通信機械で大幅増（それぞれ+17.2%、+14.5%）になったのに対し、国内民需は、同じくシェアの大きな電子・通信機械で前年比減少（▲1.4%）、産業機械で微増（+2.1%）にとどまったことが主要因であると捉えられる。

類似する統計との比較

外需で計上した機械類については、最終的に完成品あるいは部分品として輸出され、海外に運ばれる。ここでは、外需と輸出との関係を見るため、財務省「貿易統計」の一般機械輸出額、経済産業省「鉱工業出荷内訳表」の輸出向け資本財出荷指数を用いて比較を行った。

まず、これら3系列について時系列でみると、3者が概ね似たような動きで推移している（図表①-2）。

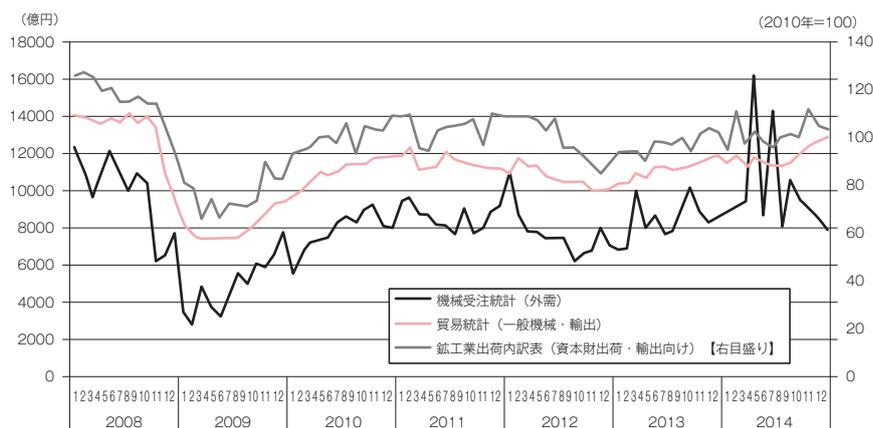
また、一般機械輸出額及び輸出向け資本財出荷指数と外需との相関係数を計算した（図表①-4）。一般機械輸出額、輸出向け資本財出荷指数ともに、外需を1月先行させた場合に最も相関係数が高くなり、相関係数自体もそれぞれ0.89、0.84とかなり高い相関関係がみえた。

おわりに

2014年の外需は、年の前半は激しい上下動がみられ、同年を通してみると7年ぶりに国内民需の受注額を上回るなど、特筆すべき動きとなった。我が国の輸出やものづくり産業の海外展開の動きにつながる外需の動向については、引き続き注視してまいりたい。また、本稿が機械受注への興味・関心を喚起する一助となれば幸いである。

深澤 恵右（ふかさわけいすけ）

図表①-2 機械受注(外需)、一般機械輸出額及び輸出向け資本財出荷指数の季節調整値の推移



(備考)「機械受注統計(外需)」は公表値。貿易統計は独自に季節調整を実施。
 (出所) 内閣府「機械受注統計調査」、財務省「貿易統計」、経済産業省「鉱工業出荷内訳表」

図表①-3 国内民需、外需の受注総額に占めるシェア、前年比増減率(2014年)

	受注総額に占めるシェア(%)			前年比増減率(%)	
		(うち) 国内民需	(うち) 外需	国内民需	外需
原動機	9.7%	5.9%	3.2%	27.5%	-7.7%
重電機	7.5%	3.4%	1.7%	0.9%	9.2%
電子・通信機械	30.0%	16.7%	7.9%	-1.4%	14.5%
産業機械	29.8%	10.7%	15.5%	2.1%	17.2%
工作機械	4.3%	1.4%	2.8%	23.0%	41.1%
鉄道車両	2.5%	1.1%	1.3%	10.1%	51.2%
道路車両	4.0%	0.8%	2.1%	16.2%	12.7%
航空機	5.0%	0.6%	2.6%	46.4%	0.1%
船舶	7.3%	0.8%	5.9%	52.6%	46.4%
計	100.0%	41.6%	43.0%	5.7%	17.9%

(備考) 1~12月の合計値(原系列)を使用。
 (出所) 内閣府「機械受注統計調査」

図表①-4 機械受注(外需)と一般機械輸出額及び輸出向け資本財出荷指数の相関係数

		一般機械輸出額	輸出向け資本財出荷指数
機械受注 先行月数	0	0.862	0.806
	1	0.887	0.841
	2	0.878	0.840
	3	0.846	0.811
	4	0.783	0.728
	5	0.715	0.606
	6	0.624	0.441
	7	0.543	0.331
	8	0.463	0.103
	9	0.370	-0.060
	10	0.282	-0.165
	11	0.213	-0.285
12	0.139	-0.404	

(備考) 季節調整値を使用。網掛けは最も相関係数の高いもの。
 (出所) 内閣府「機械受注統計調査」、財務省「貿易統計」、経済産業省「鉱工業出荷内訳表」